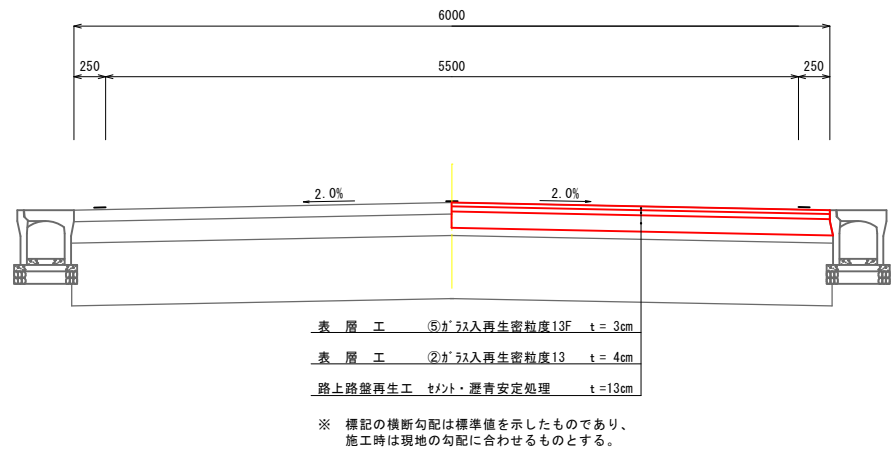


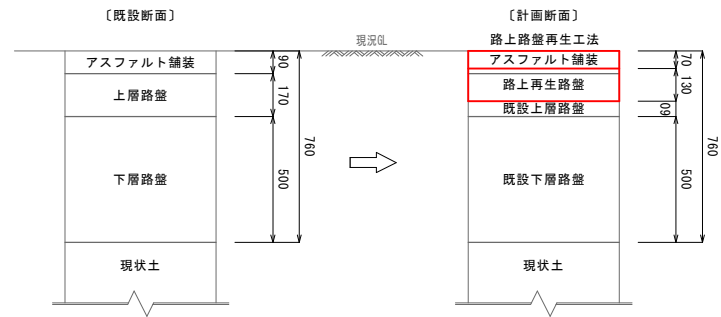
令和4年度	木ノ下・鶉久保線舗装補修工事(1工区)
工事番号	第51号
路線名	木ノ下・鶉久保線
施工箇所	おいらせ町鶉久保山地内
縮尺(A1)	S=1/30
図面番号	4 葉中 2
おいらせ町	

標準断面図

No.0～No.5+10.000



設計条件	
交通量区分	N4 (100以上250台/日未満)
設計C B R	3%
設計期間	20年
目標T A	24
凍結深	70cm



〔既設断面〕			
種別	厚さ (cm)	TA0	
アスファルト舗装	9	9 × 0.50	4.50
既設上層路盤	17	17 × 0.20	3.40
既設下層路盤	50	50 × 0.15	7.50
凍上抑制層	—	—	—
合計	76	15.40	

〔計画断面〕			
種別	厚さ (cm)	TA0	
アスファルト舗装	7	7 × 1.00	7.00
路上再生路盤	13	13 × 0.65	8.45
既設上層路盤	6	6 × 0.20	1.20
既設下層路盤	50	50 × 0.15	7.50
凍上抑制層	—	—	—
合計	76	24 ≦ 24.15	

※残存TA

※ 路上再生セメント・瀝青安定処理路盤の配合量と使用量は以下の通りとする。

セメント混入率	2.5%	使用量	0.696 t/100㎡
As乳剤混入率	4.5%	使用量	1.265 ㍑/100㎡

工事受注者は、工事に先立ち、配合試験を行い添加材使用量の確認を行い、発注者の承認を得ることとする。